

第3学年 道徳学習指導案

日時 平成16年 11月 9日(火) 授業
学級 3年1組 男16名 女12名 計28名
授業者 宮 本 敏 行

総合単元名 友達と仲良く助け合って

総合単元のねらい

健康的な仲間集団を育成するために、友達同士互いに思いやり、信頼し、助け合おうとする心情を養う。

総合単元的な道徳学習の構想について

この時期、子どもたちは学校生活にも慣れ、行動範囲が広がり、活発に活動することが多くなっている。ギャングエイジと呼ばれ、少人数の集団行動が見られ、他の集団に対して対立的・排他的な態度を示すようにもなり、仲間に入れない児童を仲間はずれにしようとする児童が見受けられることがある。また、それぞれわがままな主張がぶつかりあい、口論やけんかに発展することもめずらしくない。健康的な仲間集団を積極的に育成しなければならないが、そのためにも、友達と互いによく理解し、信頼し、助け合う気持ちを育てることが必要であると考え、総合単元として「友達と仲良く助け合って」を設定した。

本単元では、「出会う」段階で、オリエンテーション「ひとりじゃないからがんばれる」や道徳の時間「やさしい思いやり」で、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育て、「深める」につなげていきたい。「深める」の段階では、友達同士互いに理解し、信頼し助け合おうとする心情を育てていきたい。それをもとに、「生かす」の段階では、りんごの収穫の計画を立てさせ、実施することにより、さらに友達同士互いに思いやり、信頼し、助け合おうとする実践的な態度を身につけさせていきたい。

子どもたちの信頼友情にかかわってその実態について知るために、生活実態調査を行った。結果は、次の通りである。

「信頼友情」に関する生活実態調査 (調査人数 3年 54名)

1 仲良しの友達はいますか。

・はい 54人 ・いいえ 0人

2 あなたにとって友達とはどんな人ですか。

・いっしょにいて(遊んで)楽しい人 40人 ・なんでも話せる人 9人
・仲のいい人、気の合う人 23人 ・困ったときに助けてくれる人 13人
・大切な人 9人 ・相談にのってくれる人 21人

3 友達がいてよかったと思うときは、どんなときですか。

・相談にのってもらったとき 6人 ・遊んでいるとき 37人
・はげまされたとき、なぐさめられたとき 12人 ・助けてもらったとき 8人
・心配されたとき 2人 ・協力してもらったとき 25人

4 本当の友達とはどんな友達だと思いますか。

・仲良く遊んでくれる友達 18人 ・協力したり、助け合ったりする友達 11人
・励ましてくれたり、相談にのってくれたりする友達 8人

5 親切にしたことがありますか。それは誰にですか。

・ある 35人 クラスの友達 3年生の友達 他学年の友達
・ない 19人

6 なぜ、親切にするのですか。

・困っているとき、助けるのはふつうのことだから 11人
・友達は大切だから 9人
・「ありがとう。」と言われるとうれしくなるから 5人

生活実態調査から、自分には仲よしの友達がいると全員が感じていることがわかった。いっしょにいて(遊んで)楽しい人、仲がよく気が合う人を友達という子が多かったが、協力してもらったり、はげまされたり、なぐさめてもらったりしたときに、友達がいてよかったと感じている子も多い。また、そういう友達を「本当の友達」というのではないかと考えている子も多い。友達を大切にしよう、親切にしようと思っている子もいるが、親切にした経験のない子が多く、意識が十分に育っていないように思われる。また、だれにでも親切にしよう、という意識もまだ十分に育っていないように感じる。

総合単元の構想

段階	時期	意識の流れ	教科等	特別活動	日常活動	家庭・地域
出 会 う	10月 2週	<ul style="list-style-type: none"> ・友達がいるから、楽しくらせるな。 ・もっと仲よくなりたいな。 ・一人でいる友達を遊びに誘ってあげようかな。 ・声をかけ合って練習したいな。 ・だれに対しても、進んで親切にすることが大切だね。 	<p>オリエンテーション・心のノート P42・43 「ひとりじゃないからがんばれる」友達が自分にとって心の支えになっていることに気づかせる。</p>			
	4週		<p>体育「マラソン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互い励まし合って練習させる。 	<p>心のノート</p> <p>P38・39</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の心の中にある思いやりの心に気付かせる。 	<p>マラソン大会の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互い声をかけ合って練習させる。 	<p>道徳の時間</p> <p>主題名 やさしい思いやり 2-(2)思いやり、親切</p> <p>資料名 金の小鳥 (出典：東書)</p> <p>ねらい 相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。</p>
深 め る	11月 1週	<ul style="list-style-type: none"> ・自分もたくさん親切にしてあげることができたよ。 ・仲よくりんごを収穫しよう。 ・収穫が少なく、悲しんでいる友だちにりんごを分けてあげよう。 ・親切にすると、うれしくなるな。周りの人も喜んでくれているみたい。 ・お互いに理解し合うことが大切だね。 ・信頼し助け合おうとすることも大切だね。 ・協力することは大切なんだな。 	<p>総合的な学習の時間「りんごを育てよう」</p>			
	2週		<p>収穫しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと協力して、りんごを収穫させる。 	<p>心のノート</p> <p>P45</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力することの大切さに気付かせる。 	<p>帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とけんかしたときの気持ちを想起させる。 	<p>道徳の時間(本時)</p> <p>主題名 友達のよさ 2-(3)信頼友情</p> <p>資料名 たまちゃん、大すき(出典：東書)</p> <p>ねらい 友達同士互いに理解し、信頼し助け合おうとする態度を養う。</p>
生 か す	11月 4週	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が楽しい思い出になるように、しっかり計画を立てよう。 ・すてきな収穫祭を成功させるぞ 	<p>収穫祭をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と助け合いながら、りんごの収穫祭を成功させる。 			
			<p>学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんごの収穫祭の計画を皆で協力し合いながら立てさせる。 			

友だちと互いに理解し、信頼し、助け合える子ども

本時の指導

- 1 主題名 友達のよさ 2 - (3)信頼友情
- 2 資料名 「たまちゃん、大すき」(出典:「明るい心で」東書)
- 3 ねらい

友達同士互いに理解し、信頼し助け合おうとする態度を養う。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

指導内容中学年2 - (3)は、「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」と示されている。これは、健康的な仲間集団を積極的に育成するためにも、友達と互いに理解し、信頼し、助け合えるような児童を育てようという内容項目である。友達は、互いにわかり合うことにより、心が通じ合ったり、確かな友情が生まれたりする。相手を信頼し、友情をはぐくんでいくことは、人間として生きていくことの基本であることに気付かせ、常に実践する態度を養うことが必要である。

この時期の児童は、学校生活にも慣れ、行動範囲が広がり、いたずらをするが多くなっている。ギャングエイジと呼ばれ、快活さと興味の拡大から周りの友達のことを考えずに自己中心的な行動をしてしまう傾向がある。そこで、周りの友達の存在に気付かせ、友達同士互いに理解し、信頼し助け合おうとする実践的な態度を身に付けさせたい。

本時は、「深める」段階の「道徳の時間」として、「出会う」段階の「道徳の時間」でつかんだ「やさしい思いやり」という心情を土台に、総合単元で組んだ活動とかかわらせながら、子どもたちに、友達同士互いに理解し、信頼し助け合おうとする心情をはぐくませたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

子どもたちは、交友範囲が広がり、仲間意識の発達もめざましいが、自分本位の考えで行動することが多い。例えば、集団行動をするときに、自分の作業のためにみんなを待たせてしまったり、注意をされても反発して素直に聞き入れなかったりすることなどがあり、争いごとの原因になることがある。しかし反面、友達を大切にし、交友を深めていこうとする気持ちの表れも見受けられる。

(3) 資料について

本資料は、子どもたちの好きなアニメの一つ「ちびまる子ちゃん」の一話である。たまちゃんとの約束をしっかりと守ったまる子は、約束を守らないたまちゃんのことが許せない。しかし、まる子も同じような立場になってみて、初めてたまちゃんの気持ちを理解し、お互いに理解し合うという内容である。

お互いの立場を理解し合い、以前より深い友達関係を築くことができた主人公の気持ちを考えることで、本当の友達について理解し、信頼し助け合うことの大切さに気付くことのできる資料であると考えられる。

5 「心に響く道徳の時間」における指導法の工夫 (仮説・・・手だて2とのかかわり)

ねらいに迫るために、次のような手立てを考えた。

発問の工夫を取り入れた展開の工夫

- ・まる子がたまちゃんに約束を破られ、たまちゃんを許せないと、自分本位の考えを持つが、自分も同じような立場になってはとつする。その気持ちの変化をしっかりと考えさせる主発問、補助発問を工夫したい。
- ・まる子がたまちゃんにだきつき涙を流す場面で、まる子がたまちゃんを今まで以上に好きになったときの気持ちに共感させる発問、補助発問を工夫したい。

書く活動を取り入れた展開の工夫

- ・展開後段において、友達の大切さについて、自分の考えを整理し、書くことにより、さらに自分を振り返らせたい。

6 資料分析

場面	登場人物の心の動き	子どもの意識	発問の意図・発問
<p>まる子は、たまちゃんとあしたいっしょにタイムカプセルをうめに行くやくそくをした。</p>	<p>(まる子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年後のたまちゃんになんて書こうかな。 ・楽しみだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うらやましいな。 ・楽しみだろうな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムカプセルをいっしょにうめに行くことを楽しみにしているまる子の気持ちに共感させる。
<p>タイムカプセルをいっしょにうめるやくそくをしたのに、たまちゃんはこなかったので、二人でつくったタイムカプセルを土手になげずてしまった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たまちゃんのうそつき。 ・ずっと待っていたのにどうしてこないの。 ・もう知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やくそくを破ったたまちゃんはひどいな。 ・どうして来なかったのか。 ・まる子がかわいそう。 	<p>タイムカプセルをたまちゃんとうめに行くまる子はどんな気持ちでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やくそくを破ったたまちゃんに対するまる子の気持ちに共感させる。 <p>やくそくしたのに来ないたまちゃんのことをまる子はどう思ったでしょうか。</p>
<p>まる子は、お母さんにおなべの火を見ていることをたのまれ、たまちゃんのことばかり考えながら火を見ていて、はっとした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たまちゃんもお母さんに頼まれて留守番をしていたんだ。 ・たまちゃんのことを考えなくてごめんね。 ・タイムカプセル探さね。許して。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たまちゃんの気持ちに気がついてよかったね。 ・まる子は、たまちゃんに謝ったほうがいいんじゃないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おなべの火を見ていてまる子がたまちゃんの気持ちを考えていなかったことに、はっと気が付いたときの心の変化に気付かせる。 <p>はっとしたとき、まる子はどんなことを考えたでしょうか。</p>
<p>まる子がタイムカプセルを探しに行く。するとたまちゃんも来た。まる子は土手をかけおりにたまちゃんにだきつき、お互い謝りながら二人とも涙がとまらなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごめんね。ゆるさなかったわたしが悪かった。 ・たまちゃんの気持ちがあった。 ・たまちゃんのことをもっと好きになった。 ・自分のことだけでなくたまちゃんの気持ちも考えなければならぬ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二人が仲直りしてよかった。 ・前より仲がよくなったのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まる子のたまちゃんに対する友情の深まった気持ちに共感させる。 <p>まる子の涙がとまらなかったのは、なぜでしょうか。</p>

7 展開

段階	学習の流れ	予想される児童の反応	支援の手立てと評価の観点
導入 5分	1 友達とけんかしたときの話を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ いやなやつだな。 ・ 早く仲直りしたいな。 ・ 人の気持ちを全然かんがえていないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に友達についての作文を書かせておく。
展開 前段 2.5分	<p>2 資料「たまちゃん、大すき」を読み、話し合う。</p> <p>タイムカプセルをたまちゃんとうめに行くまる子はどんな気持ちでしょうか。</p> <p>やくそくしたのにこないたまちゃんのことをまる子はど う思ったでしょうか。</p> <p>はっとしたとき、まる子はどういう気持ちになったで しょうか。</p> <p>まる子のなみだがとまらなかったのはなぜでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早くあしたにならないかな。 ・ 楽しみだな。 ・ たまちゃんのうそつき。 ・ ずっと待っていたのに、どうして来ないの。 ・ たまちゃんもお母さんに頼まれて、留守番をしていたんだ。 ・ たまちゃんのことを考えないでごめんね。 ・ タイムカプセルさがすね。許して。 ・ ごめんねと謝るとゆるしてくれたから。 ・ たまちゃんのやさしさが前よりももっとよくわかったから。 ・ 自分のことだけでなく、たまちゃんの気持ちも考えなければならぬ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムカプセルをいっしょにうめに行くことを楽しみにしているまる子の気持ちに共感させたい。 ・ やくそくを破ったたまちゃんに対するまる子の気持ちに共感させたい。 ・ おなべの火を見ていてまる子がたまちゃんの気持ちを考えていなかったことに、はっと気がついたときの心の変化に気付かせたい。 ・ まる子のたまちゃんに対する友情の深まった気持ちに共感させたい。 (評)まる子のたまちゃんに対する気持ちに共感させることができたか。
展開 後段 10分	3 友達について話し合う。	<p>友だちを大切にしようと思ったことはありませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身のことを振り返らせたい。 (評)自分を振り返らせることができたか。
終 末 5分	4 教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のことを考えて行動することが大切であるという趣旨の説話をする。

8 評価

友だちどうし互いに理解し、信頼し助け合おうとする心情が育ったか。

9 板書計画

<p>相手のことを考える</p>	<p>場面絵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たまちゃんはやさしい ・ ゆるしてくれてありがとう ・ 相手のことを考えることが大切 	<p>場面絵</p> <p>なみだがとまらない</p>	<p>場面絵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ るすばんたのまれたんだ ・ 気がつかなかった ・ ごめんね、ゆるして 	<p>場面絵</p> <p>はっとした</p>	<p>場面絵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うそつき ・ もう知らない 	<p>場面絵</p> <p>やくそくしたのにこない</p>	<p>場面絵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早くあしたになればいい ・ 楽しみだな 	<p>たまちゃん、大すき</p> <p>たまちゃんとやくそく</p>
------------------	---	-----------------------------	---	-------------------------	---	-------------------------------	---	------------------------------------

10 道徳ノート

<p>ふりかえり()、()、() を書きなさい</p> <p>友だちや先生の話をしつかり聞くことができましたか。()</p> <p>自分の考えを発表しようと思いましたか。()</p> <p>書く活動ががんばりましたか。()</p>	<p>道徳ノート</p> <p>たまちゃん、大すき</p> <p>三年 組 番 名前</p> <p>友だちを大切にしたいなと思ったことはありませんか。それはどんなときですか。</p>
---	---